

指定管理者評価票

年度	令和6年度
担当部署	教育部 図書館 文化財担当

1 公の施設

施設名称	瑞穂町郷土資料館「けやき館」		
所在地	瑞穂町大字駒形富士山316-5		
施設概要	敷地面積 4,388.36㎡ 郷土資料館：建築面積1,729.57㎡ 延べ面積2,201.28㎡ 1階：事務室、常設展示室、企画展示室、多目的室、会議室、体験学習室、ガイダンスホール、整理作業室、調査室、燻蒸室、荷解室、収蔵庫、特別収蔵庫、倉庫 2階：会議室、展示ギャラリー、収蔵庫、書庫 四阿：建築面積12.96㎡ 井戸上屋：建築面積6.25㎡		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成26年6月30日完成	導入後	11 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	アクティオ株式会社			
	所在地	目黒区東山一丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階			
指定管理期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	郷土資料館の管理運営を効率的かつ効果的に行うため、指定管理者制度を導入します。				
指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受				

3 施設の利用状況

(単位：人、日、円)

利用状況（量）を示す指標名	前指定末 令和5年度	指定期間中の実績				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 町内在住者	12,909	12,851				
② 町外在住者	18,078	20,423				
③ 貸出日数	102	74				
④ 利用料収入	197,800	362,700				
⑤ その他収入	206,730	342,195				

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入	指定管理料	59,814,000	72,556,000				
	利用料金収入	197,800	362,700				
	その他	206,730	342,195				
	計	60,218,530	73,260,895	0	0	0	0
支出	支出	60,218,530	73,260,895	0	0	0	0
	うち修繕費	949,300	1,171,471				
	うち人件費	22,774,052	28,383,786				
	その他	36,495,178	43,705,638				

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和6年度	展示ケースに一部カビと汚れがあるため、企画展の合間の状況を見て順次張り替えている。
	令和7年度	
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	
事務改善及び効率化等に関する こと	令和6年度	PCのバージョンアップをしたことから、効率よく仕事ができるようになった。大判プリンターを新規導入したことで、スムーズに作業を進められるようになった。
	令和7年度	
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	
利用状況に関する こと	令和6年度	事業に関する広報を精査し、範囲も広げたことで、新規の利用者を増やすことができた。
	令和7年度	
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
算定	指定後	72,731,000				
	前指定末（令和5年度）	59,989,000				
	比較	12,742,000				
実経費	指定後	72,556,000				
	前指定末（令和5年度）	59,814,000				
	比較	12,742,000				

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	事項通り実施	5	協定書・仕様書で示した事項を適切に履行している。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	修繕が必要な箇所についてなど適宜行っていることから適切と思われる。	5	日々の維持管理から修繕対応まで適切に行われている。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	5	修繕費は予想より多くなった。また、印刷費などが徐々に値上がりしていったことなどから予想より多くなった項目もあるが、適正と思われる。	5	竣工してから10年が経過し、突発的な修繕箇所が増えたが、行政と指定管理者で協議を行いながら、適切に対応した。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	イベント等の広報関係のマスコミ対応等を適宜、迅速に対応していただいた。	5	随時、適切に行った。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など ・利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	事業計画に沿った運営を行った。イベントについては、当初年度計画になかったイベントも職員の提案から新事業として実施した。満足度も「良かった」のお声が95%以上だった。	5	事業計画どおりすべての事業を実施し、かつ参加者からの評価も高かった。年間来館者数も前年度を上回った。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	町の歴史を次世代に伝えていくほか、自然や文化の拠点となる施設として町の貴重な文化財などの保存・展示を行うとともに講演会などさまざまな事業を行政と連携したうえで実施しています。	5	施設の設置目的に則した、適切な運営が行われている。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	5	年間事業計画通りに実施している。体験教室の事業では、内容の満足度や接客態度について「良くない」の指摘はアンケート全体の1%以下だった。	5	年間計画に基づき事業を実施した。自主事業も好評で、営業努力も認められる。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	5	通信費については、郵送費が値上がりしたこともあり大幅に増加したが、全体では予想の範囲内で収まった。収入に関しては、イベントや物販の収入を増加させることができた。開館から10年が経過し、突発的な修繕が発生することもあったが、安定した収支状況だったと思われる。	5	行政と指定管理者で協議を行いながら、適切に運営しており、収支は安定している。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	アンケートや受付に直接寄せられるお声から、適宜対応可能なものは迅速に対応している。学芸員が歴史関係等の問合せに対して、必要があれば資料の閲覧や調査を行うなど協力をしている。	5	来館者の意見などですぐに対応できるものは適切に対応している。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	エントランスでの展示を体験学習室の通路にも広げより多くの作品を観覧していただけるように工夫している。また、山野草フェスタのイベントで実施した自然に関するクイズでは、常設展示室のジオラマを活用するなど館内を有効活用している。	5	企画展の展示入替中も他の場所で展示を行うなど、常に新たな展示が行われている状況を作り出していた。また、耕心館との連携事業として両館にまたがる展示なども実施された。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	これまでと同様にアンケート提出者には、関連した画像のポストカードを差し上げるなどし、沢山のアンケートを集計できるようにしている。	5	館内各所にアンケートの設置、また各事業実施の際にもアンケートを実施している。集計結果は毎月の報告会にて行政側にも共有されている。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	適切に実施	5	適切に実施されている。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	適切	5	適切に実施されている。